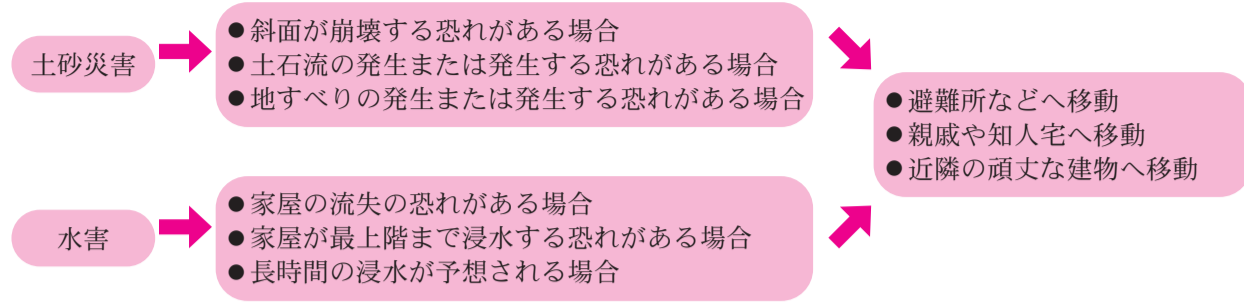


図1 立ち退き避難が必要となる災害の場合



1面のついで

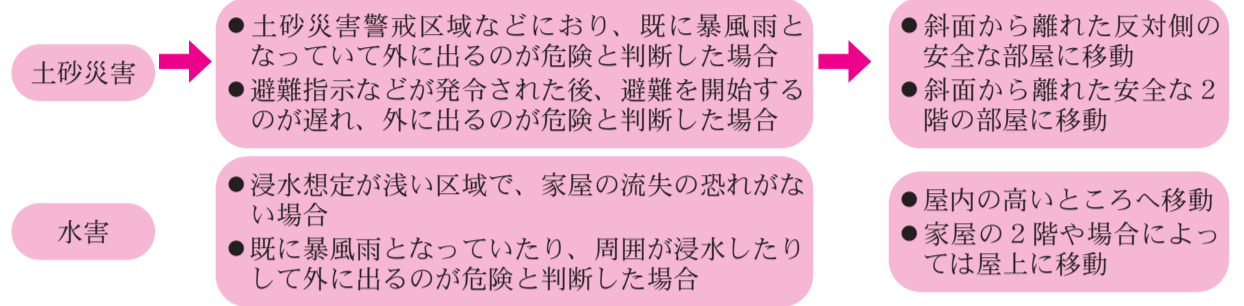
立ち退き避難が必要となる災害の場合

家屋にとどまることにより命の危険性を感じる場合には、「立ち退き避難」が必要です。

屋内安全確保をとる場合

移動することがかえって危険と感ずる場合には、「屋内安全確保」が必要です。

図2 屋内安全確保をとる場合



早めの避難を願っています

市は、集中豪雨や台風などで被害が予想されるとき、必要に応じて避難指示などを発令し、避難所を開設します。避難指示や避難所開設などの情報は、防災行政無線、市メール配信サービス、消防団などの広報活動でお知らせします。特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、早めの避難をお願いします。

避難所では、衛生対策として体調チェック、避難所内の換気スペースの確保など、衛生環境の確保を行います。次のとおり、事前の準備や確認をお願いします。



避難所における衛生対策

- ▽市ホームページ
- ▽市公式 Twitter
- ▽消防団などによる広報活動
- ▽気象庁ホームページ
- ▽テレビのデータ放送の利用
- ▽リモコンの「d」ボタンを押すとデータ放送が表示されます。

空メール送信



情報伝達・入手方法等

情報をいち早くキャッチして、災害から身を守る行動につなげましょう。

▽防災行政無線 内容が聞き取れない場合は、放送から24時間まで、電話で放送内容を確認することができます。

●市内固定電話から利用：☎ 0120・558・5400 (フリーダイヤル)

※050から始まる一部のIP電話は利用できません。

●携帯電話などその他の電話から利用：☎ 042・558・7777 (有料ダイヤル)

▽市メール配信サービス 未登録の方は、次の2次元コードを読み取り、登録してください。

●避難所が過密状態になることを防ぐため、安全な場所に住んでいる親戚や友人の家などへの避難を検討しましょう。

●自宅周辺の複数の避難所を、ハザードマップや市のホームページなどで、事前に確認しておきましょう。

●避難所管理運営マニュアルを市ホームページで確認しましょう。

地域の防災訓練などに参加しましょう



あきる野市防災・安心地域委員会や町内会・自治会の自主防災組織が中心となって各地域で防災訓練などが実施されています。訓練に参加して平常時から防災に関する知識や経験を深め、災害の発生時や発生後に迅速に対応できるようにしましょう。

樹木や看板等の適正な管理をお願いします

強風により倒木や看板などが吹き飛ばされたことが原因で住民や住宅などに被害が出た場合、所有者の責任が問われることがあります。定期的な樹木の枝払い、伐採、看板などの点検を行い、被害が発生しないよう適正な維持管理をお願いします。

家庭内備蓄

市においても、食料などの備蓄をしていますが、家庭においても、災害発生から災害復旧まで(目安：3日〜5日)の間に必要なものを用意しておきましょう。

必要なものを用意しておきましょう。

ペットを連れて避難(同行避難)をする場合

ペットをゲージなどに入れて避難してください。災害に備え、日頃からペット用の防災用品の準備など、いざというときに適切な対応がとれるよう準備しておきましょう。

ローリングストック法(ROSN)

各家庭での備蓄については、非常用食料品や飲料水等を購入しなくても、普段から購入しているペットボトル飲料水や食料品などを賞味期限を迎えるまでに計画的に使用し、同様の物を新たに買い足すというローリングストック法で備蓄することができます。計画的に備蓄していきましょう。

梅雨を前に危険なげや家のまわりの再点検

梅雨や台風の時期は、長雨や集中豪雨で地盤がゆるみ、がけやよう壁などの崩壊が起こりやすくなります。特に、危ないがけや不完全なよう壁で覆われている場所にある家や土地は、大きな被害を受けるばかりではなく、隣接する方々の生命や財産にまで危険を及ぼすことにもなります。

このようなことがないように、日ごろから家の周りの安全を確かめ、危ない石積や土留などは補強改善し、雨水の排水を良くするなどして、安全対策に心がけましょう。

すでに、関係機関から改善などの措置をとるよう勧告を受けている方は、補強、改良などの工事を行ってください。

宅地造成工事規制区域内の定められた区域内で、一定の高さ以上の切土・盛土をする場合や、よう壁などを築造するときは、事前の許可が必要となりますので、注意してください。

▽相談・問合せ 都市計画課指導係、東京都多摩建築指導事務所 開発指導第一課 (☎ 042・548・2051)

「浸水への備え」をお願いします

東京都下水道局では、雨期に向かう6月を「浸水対策強化月間」と定め、浸水への備えをお願いしています。污水管に雨水が流れ込むと、道路上のマンホールや宅内の汚水ますなどから

表1

家庭内備蓄品リスト	
□食品 ※食品ごとに保存期限があります。ローリングストック法で食品ロスを防ぎましょう。	□缶詰やレトルト食品 □カップ麺 □チョコレートなど 非常食にとらわれず、常温保存ができる自分や家族の好きな食品を備えておくことも大切です。
□水	□飲料水 (大人1日3ℓが目安) □生活用水：風呂の水などを活用しましょう。 炊事 (湯煎等)、洗濯、トイレなどで使用します。
□燃料	□卓上コンロ □予備ボンベ □キャンプ用コンロ □キャンプ用かまど □七輪 □薪、炭、練炭など
□日用品・その他	□持病薬など医薬品 □マスク □消毒液 □携帯トイレ □ティッシュペーパー □ウェットティッシュ □寝袋 □ラジオ □懐中電灯 □乾電池 □防水シート
このリストは、一般的なものを例示しています。家庭の状況で必要なものを準備しましょう。なお、衣類や調理器具など日常使用するものは、リストにあげていません。	

▽問合せ 管理課下水道係 (直通558・2054)

東京都下水道局
東京アメッシュ

